

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>10 番 石川 栄</p>	<p>1 町税の滞納額縮減と今後の徴収対策について</p> <p>2 郷土資料館の運営について</p>	<p>昨年4月に財源不足の解消策として、3年間、基幹税目である固定資産税の税率を1.58%とし、超過課税を実施している。町民に負担を強いる中、公平性の観点からも確実な収入確保が重要であり、各税公金債権の確保について、徴収体制の整備強化を図る必要があると考えます。そこで、次の4点について伺います。</p> <p>①平成28年度の町税徴収状況について、決算審査前であることから、概要について伺います。</p> <p>②昨年度、予算を追加補正し、裁判所に相続財産管理人の選任を行ったと記憶していますが、以降、どのような進捗状況にあるのか伺います。</p> <p>③債権回収にあたり、職員のスキルアップ等、組織体制をどのように考えているのか伺います。</p> <p>④全国の自治体において、滞納整理の効果的な方策として、税と他の公金債権を一元管理し、一体で徴収する団体が増えていると聞きます。それにより、町当局の関係課が各々に折衝することなく、滞納者にとっても納付先が絞り込まれ、精神的に楽になるように感じますが、今後、一体徴収等の体系化を実施する方向で検討できないか伺う。</p> <p>郷土資料館は、多くの観光客、また町民に、箱根の文化、歴史を学んでもらう大切な場所と考える。</p> <p>現在の資料館は入館者も少なく、箱根の資料館としての役割をなしていない感がある。箱根を宣伝する基本と思う。今後の運営について伺う。</p>

		<p>①過去 3 年間の入館者数からみる近年の 動向について</p> <p>②利用者増に向けた取り組みについて</p> <p>③外国人対応について</p>
--	--	---